

企画展

芥川龍之介^よ余暇^か

のたのしみ

—趣味

でつながる田端人たち



2025年
9月
27日
土

※休館日を除く

2026年2月1日 日

会場：田端文士村記念館 JR山手線・京浜東北線
「田端駅」北口より徒歩2分

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（祝日の時は火・水曜）、祝日の翌日（土・日の時は翌火曜）、年末年始（12/29～1/3）

【主催・問合せ】（公財）北区文化振興財団 田端文士村記念館 ☎03-5685-5171 【共催】東京都北区

入場
無料

写真：コレクションを眺める龍之介（佐藤春夫編『おもかげ』昭和4年2月 座右寶刊行會）

芥川龍之介 余暇のたのしみ 趣味でつながる田端人たち

幼い頃から東西の文化に親しみ、豊かな知識や経験を育んだ芥川龍之介。そこで培われた感性は小説に影響を与えただけでなく、日々の暮らしを彩る「趣味」と結びつき、龍之介の心豊かな生活を支えました。絵を眺めたり、芝居を観たり、俳句を作ったり…。本展では、多彩な趣味で余暇を楽しんだ龍之介の素顔と、趣味を通じて交流した田端の文士・芸術家たちをご紹介します。

初公開

龍之介 旧蔵
自慢の骨董コレクション!



平茶碗 (個人蔵)

龍之介の
一周忌記念で
配られた冊子に
も掲載されて
いる遺品

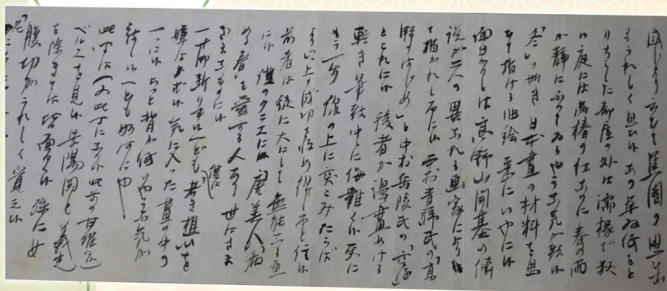


ギリシアの瓶 (個人蔵)

新収蔵

絵画鑑賞や観劇など…
龍之介の青春がぎゅっと
詰まった手紙!

長さ
約1.6メートル!
学生・龍之介の
充実した日常



芥川龍之介 山本喜喜司宛書簡 明治44年3月14日 (部分)

新収蔵

龍之介 自筆!
河郎 (河童) が登場する短歌稿

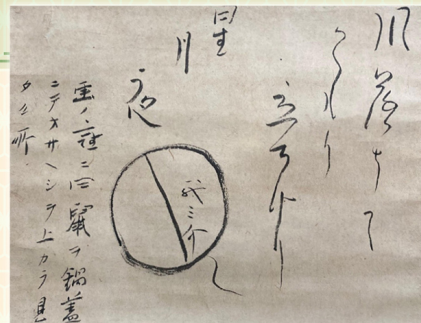
龍之介
お気に入りの
「河郎十首」の
ひとつ



芥川龍之介扇面歌稿
「水底の小夜ふけぬらし河郎のあたたまの皿に月さし来る」

注目資料

馴染みのお米屋さんへ送った
龍之介のユーモアあふれる書画



芥川龍之介書画幅
「風落ちてくもり立ちけり星月夜」 (個人蔵)

鍋蓋でネズミを
押さえる絵、
どんな意味が
ある?

関連座談会

「芥川龍之介と英米文学 - 翻訳家たちが語る 芥川編
"THE MODERN SERIES OF ENGLISH LITERATURE" -」

2025年11月23日 (日・祝) 14時開演

定員: 100名 (抽選) 11月5日 (水) 必着で要申込 ※詳細は当館ホームページをご覧ください。

登壇者: 柴田元幸氏、西崎憲氏、谷崎由依氏、澤西祐典氏

芥川龍之介 原稿「序」『THE MODERN SERIES OF ENGLISH LITERATURE』

主催・
問合せ

(公財) 北区文化振興財団

田端文士村記念館 〒114-8523 東京都北区田端6-1-2 ☎03-5685-5171

JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分 ※駐車・駐輪場は隣接の有料施設をご利用ください。

<https://kitabunka.or.jp/tabata/>

✉ @bunshimura



ホームページ

(仮称) 芥川龍之介記念館 いよいよ着工!

東京都北区は田端1丁目の旧居跡地に (仮称) 芥川龍之介記念館を2027年度に開館予定です。現在、記念館に設ける書斎の再現に対して寄附を募っており、これまで250件以上、約800万円のご寄附をいただきました。当時を「体感(feel)」できる魅力的な記念館開館に向け、ご支援の程お願いいたします。



詳しくはこちら



2025年8月の着工式の様子

【寄附のお問合せ】 北区役所文化施策推進課 TEL.03-5390-0093 (平日8:30~17:15)

【寄附の方法】 スマートフォンやPCから or 納付書を使って金融機関から